

State of the Art

肺高血圧症とPRO

肺高血圧症患者のPRO—膠原病編—

川口 鎮司 東京女子医科大学膠原病リウマチ内科臨床教授

Key word

👉 全身性強皮症(SSc), 混合性結合組織病(MCTD),
全身性エリテマトーデス(SLE), 肺動脈性肺高血圧症(PAH),
患者報告アウトカム(PRO)

S u m m a r y

患者報告アウトカム(PRO)は、患者中心の臨床評価を行うときに、重要なツールである。すべての疾患に共通となるHAQ, EQ-5D, SF-36[®]は30年以上前に開発されており、多くの臨床研究に応用されてきた。最近になり、疾患に特異的なPROが開発されてきているが、膠原病に特定の評価ツールは少ない。そのなかで、関節リウマチや全身性強皮症(SSc)においては、HAQ-DIがある。SScでは、それ以外にもPRO評価ツールが開発されており、疾患活動性との関連が知られている。しかしながら、膠原病関連肺高血圧症(PH)に特異的なツールはなく、いくつかのPROツールを合わせて評価を行う。